

石碑「金沢大学発祥の地」設置に至る経緯について

平成 23 年 11 月 5 日

金沢大学創基 150 年記念事業準備委員会委員長

柴田正良

金沢大学創基 150 年記念事業の準備委員会委員長を務めております柴田です。私からは、石碑設置に至る経緯について、簡単にご説明いたします。

今から 3 年前の平成 20 年に学長が示された創基 150 年記念事業のプランには大きな 3 つの柱があり、その一つがこの「彦三種痘所」の石碑の建立でありました。

それ以来、準備委員会としては、もっぱら医学系の委員の先生方をお願いをして、石碑の建立を進めて参りましたが、一番の困難は、その跡地の正確な場所をなかなか突き止めることができないということでした。幸いにも、本学の医学部記念館資料室学術委員である赤祖父一知先生の、執念とも言える粘り強い探索の結果、昨年 4 月までにはそれをこの地とほぼ定めることができました。

それ以後、本学施設部を通して当地の金沢彦三郵便局、ならびに郵便局株式会社さまをお願いをし、本年春頃に石碑建立の許可を頂くことができました。石碑には、正面に「彦三種痘所跡地」、側面の一つには「金沢大学発祥の地」と刻まれ、もう一つの側面には種痘所の由来が彫られています。

この正面の題字は竹田亮祐・本学同窓会連絡協議会会長、側面の題字は中村信一学長に揮毫をお願いしました。また別の側面に彫られた碑文は、医薬保健研究域長である山本博・本準備委員会委員が起草したものであります。

説明がやや長くなり恐縮ですが、その碑文をここで紹介させていただきます。

「当時恐るべき災厄であった天然痘を種痘により未然に防ぐため、加賀藩は一八六二（文久二）年三月に彦三種痘所を開設し、黒川良安、津田淳三、大田美農里、高峰元稔、鈴木儀六、伏田元幹ら計二十五名の医師がこれに参画した。彦三種痘所はこの地に存在したと推定され、卯辰山養生所、金沢医学館、石川

県甲種医学校、第四高等学校医学部、官立金沢医科大学、国立金沢大学へと続く系譜の淵源となった。

平成二十三年十一月
国立大学法人金沢大学」

創基 150 年記念事業準備委員会といたしましては、これで学長より命ぜられた 3 大事業の一つが完了したことに、いまホッと胸をなで下ろしております。

石碑建立にご協力頂きましたみなさま、とくに金沢彦三郵便局長・上野慎二さま、郵便局株式会社北陸支社長・高野重実様、竹田亮祐先生、赤祖父一知先生に心から御礼を申し上げまして、経緯の説明とさせていただきます。

本日は本当に有り難うございました。